平成26年度 第2回留学生スタディツアー日程

1月目 <1月17日(土)>

| | 行和 エバカ 泰田 IC | h | |
|----|-------------------------------|---------------|-------------------------------|
| | 行程及び視察場所 | 内 容 | 目 的 |
| 午前 | 除染情報プラザ | 除染についての進捗状況 | 除染への取り組みや現状を理解 |
| | MACIE TRA A A | や基礎知識、専門的なサポー | してもらい、県内での生活への安心 |
| | | ト情報など、除染に関する最 | 感をもってもらう。 |
| | | 新の情報の説明を受ける。 | 【環境の安全】 |
| | かーちゃんの力 | 避難している方々による | 原発事故の影響で避難を余儀な |
| | かっていたのう | 地域活性化の取り組みの視 | くされた女性農業者が、おふくろの |
| | プロジェクト | 察。かーちゃんのカプロジェ | 味で地域を元気にするために取り |
| | ノロンエクト | クトの概要について、スライ | 組んでいることについて理解して |
| | | ドショーとプロジェクター | もらう。【県民の努力】 |
| | | による説明を受ける。 | |
| 午後 | 土和田土畑小 バニ、ニ | 小高駅前や貴布根神社周 | 被災地をまわることで、震災当時 |
| | 南相馬市観光ボランテ | 辺などの被災地をまわりな | に何が起き、どのような被害を受け |
| | | がら、当時の状況等の説明を | たのかを理解してもらう。当時の状 |
| | ィアガイドのよる案内 | 受ける。 | 況を知ることにより、津波と原発事 |
| | ・南相馬ソーラーアグリ | | 故を経験した福島県が、復興に向け |
| | パークでガイドと合流 | | てどのように歩んでいるのかにつ |
| | | | いて理解を深めてもらう。 |
| | - ・ - 小高駅前の視察 | | 【震災による被災状況】 |
| | 1 | | |
| | ・貴布根神社周辺視察 | | |
| | | | |
| | •南相馬ソーラーアグリ | | |
| | パークへ | | |
| | | 体験学習と事業概要や取 | 復興を担う子供たちの成長を支 |
| | 南相馬ソーラーアグリ | り組みについての説明を受 | 援 するための施設としての役割と、 |
| | | | 接 の に め の 他 放 と し こ の 役 割 と 、 |
| | パーク | ける。 | |
| | | | めの取り組みの内容を理解する。 |
| | | 和田昭田道のマーチの人 | 【再生可能エネルギー】 |
| | 南相馬観光協会 | 相馬野馬追のことを紹介 | 相馬の観光の魅力を感じたり、日 |
| | | してもらいながら、甲冑の着 | 本文化を体験したりする。【文化・ |
| | 甲冑着付け体験 | 付けを体験する。 | 歴史】 |
| | | | |

2日目 <1月18日(日)>

| | <11110H (H) > | | |
|----|---|---|---|
| | 行程及び視察場所 | 内 容 | 目的 |
| 午前 | 一般社団法人 みんな共和国 子育て応援カフェ 37cafe@park | みんな共和国の活動の趣旨、 概要、歩みなどについての説 明を受け、みんなカフェの見 学をする。 | 子供たちのための遊び場を作ったり、様々なイベントを企画したりしているボランティア団体の活動を理解し、震災以降の子供への支援やボランティアの状況について理解する。 【子供支援・ボランティア】 |
| | 水産試験場相馬支場 | 試験操業の近況について の説明と、食の安心安全のた めの取り組みについての説 明を受ける。 | 食の安心・安全に向けた県の取り組 みを理解してもらい、安心感をも ってもらう。【食の安全】 |
| 午後 | 相馬中村神社 | ガイドによる相馬神社と相 馬野馬追についての案内。数 名の乗馬体験も行う。 | 相馬市の観光や歴史の魅力を感じてもらう。 【観光・歴史の魅力】 |
| | 和田観光苺組合 | 津波の被害を受けたいち ご園を再開に導いた取り組 みの話を聞く。その後、イチ ゴ狩り体験を行う。 | 津波被害を受けたいちご園を再開に導いた努力について理解するとともに、県の果物のおいしいさや魅力を味わってもらう。 【県民の努力・県産品の魅力】 |